



2023年3月30日

各位

会社名 株式会社オーイズミ
 (コード：6428 東証プライム)
 代表者名 代表取締役社長 大泉 秀治
 問合せ先 取締役管理部長 北村 稔
 (TEL. 046-297-2111)

上場維持基準適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月27日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。2022年12月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたのでお知らせします。なお、「流通株式時価総額」及び「流通株式比率の状況」については、2023年3月31日時点の株式等の分布状況を踏まえて改めてお知らせします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」、「流通株式比率」及び「1日平均売買代金」については基準を充たしておりません。「流通株式比率」につきましては、2021年6月30日の移行基準日時点では基準を充たしておりましたが、当社計算で新たに「流通株式比率」についても抵触する見込みとなりました。

なお、不適合の基準については2021年12月27日にお知らせした中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の結果を公表する事業年度末の2025年3月31日までに上場維持基準を充たすために、引続き各種取り組みを進めてまいります。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況	2021年6月30日時点 (移行基準日)※1	78,951単位	30.9億円	35.0%	0.11億円
	2022年12月31日時点	61,751単位※2	31.0億円※3	27.4%※2	0.18億円※4
	上場維持基準	20,000単位	100億円	35.0%	0.2億円
適合状況		○	×	×	×
計画期間		—	2025年3月期	2025年3月期	2024年12月末日※5

※1 東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 当社が2022年9月末時点の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※3 2022年12月の日々の株価終値平均503.0円を乗じて算出を行ったものです。

※4 東証からの審査結果の通知をもとに記載したものです。

※5 「1日平均売買代金」に係る上場維持基準は、毎年12月末日以前1年間における上場株券等の日次平均売買代金が対象であるため、計画期間を2025年3月末から2024年12月末に変更しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

プライム市場の上場維持基準の充足に向けた「1日平均売買代金」の向上にかかる取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容については、下記に記載の通りです。

【基本方針】

プライム市場上場維持基準を充たすための計画期間を「中期経営計画」の最終年度となる「2025年3月期末」とし、流通株式時価総額の増大に向けて、5つの重点課題の実現により企業価値向上を図ってまいります

【課題】

当社は役員及びその関係者を中心とした非流通株主の保有する割合が多いことや、安定した業績に対して、IR不足により株価が適切に反映されていないことが本課題の背景と認識しており、不適合となっている「流通株式時価総額」「流通株式比率」及び「1日あたり売買代金」の適合のためには、利益水準の向上に加え、非流通株式数の削減（または流通株式数の増加）による流通株式比率（流動性）の向上、ひいては売買代金の向上が必要であると捉えております。

【取り組みの実施状況と評価】

IR活動による当社の認知度向上

当社グループの企業活動の概要、経営方針、経営戦略、財務状況や事業計画について周知する取り組みとして、2023年3月期決算より原則年2回の決算説明会を開催することとしました。今年度は、2022年12月に2023年3月期第2四半期決算説明会を行いました（参加者16名）。その後も機関投資家とのミーティングを随時実施しており、今年度は7社とのミーティングを実施しました。

今後も機関投資家等への情報発信、充実した資料提供を継続的に実施し、当社グループの認知度向上に向けIR活動に注力してまいります。

M&Aについて

当社は、今後EC事業を成長事業分野として位置づけ、今年度新たにバブルスター株式会社と武内製薬株式会社をM&Aにより子会社化いたしました。詳細につきましては2022年3月30日付「バブルスター株式会社の株式の取得に関するお知らせ」及び2022年8月19日付「武内製薬株式会社の株式取得に関するお知らせ」をご参照ください。

（参照URL）<https://www.oizumi.co.jp/pdf.php?c=2&n=336>

<https://www.oizumi.co.jp/pdf.php?c=2&n=348>

また、遊技機事業の拡大と収益向上を図るべく、ぱちんこ遊技機の開発、製造及び販売を事業とする株式会社高尾の全株式を取得し子会社化いたしました。詳細につきましては2022年12月19日付「株式会社高尾の再生計画に基づく新株引受のお知らせ」をご参照ください。

（参照URL）<https://www.oizumi.co.jp/pdf.php?c=2&n=353>

これらのM&Aが、グループ内でのシナジー効果を発揮し企業価値の向上へ繋がるものと考えております。

配当政策

長らく年間9円の安定配当としていたが、安定配当に加え業績に応じた配当を検討し、2023年3月期は年間12円の配当を予定しております。(配当性向38.6%)

当社では、以上の取り組みにより2022年12月31日時点での「1日平均売買代金」0.18億円に対し、2023年1月1日から2月28日においては0.82億円と大幅に増加していることから、実施した取り組みによる成果であると評価しております。

【今後の課題と取組】

今後も引き続き機動的な資本政策を推進するとともに、積極的なIR活動を展開することで、当社株式の認知度及び投資魅力の向上を図り、上場維持基準の達成を目指してまいります。

なお、移行基準日時点でプライム市場の上場維持基準を充たしておりませんでした「流通株式時価総額」及び新たに上場維持基準に抵触した「流通株式比率」につきましては、2023年3月末の適合状況が分かり次第、改めてお知らせいたします。

以 上